

開催地名：北海道根室市	
開催日時	令和元年 10 月 18 日（金） 11：25 ～ 12：10
開催場所	北海道根室高等学校
語り部	菅野 祥一郎 （岩手県陸前高田市）
参加者	根室高等学校生徒及び教員等 約 600 名
開催経緯	根室地域に想定される災害について正しく認識し、その対応等について学ぶため、今後を担う「高校生」と災害現場において様々な活動をしている「防災関係機関」等が、世代や立場を超え一堂に会し、「身近な防災・減災」について考えることにより、若い世代の防災・減災意識の高揚を図り、地域防災力の向上に資することを目的とする根室市地域防災特別授業「高校生防災会議」において、基調講演として語り部の講演を開催した。
内容	（１）はじめに 私が住む陸前高田市は、岩手県の南端に位置し、すぐ隣は宮城県である。東日本大震災では津波の被害を受け、多くの命が失われた。津波には 3 つの特徴があると言われている。1 つ目は一度に多くの命を奪ってしまうということ、2 つ目は、遠くまで流された人の遺体が見つからないということである。そして 3 つ目は、いつのまにか忘れ去られてしまうということである。大きな津波は毎年来るものではない。忘れたところに突然やってくる怖さがある。 （２）絶対に子どもたちを助けるという信念 地震が発生したときに所用で校外にいた私は、急いで学校に戻ろうとしたが、途中の橋が通行止めになり、想定外の時間がかかってしまった。戻った時、子どもたちや近隣の住民は校庭に整列していたが、既に津波は川をさかのぼり始めており、時間の猶予はなかった。私は、丸太の階段を使い、隣の山の上にある青いフェンスまで駆け上がることを指示した。低学年から登れば渋滞してしまい、時間がかかってしまうので、6 年生から順番に登るように指示した。 さっきまで校門付近にいた数十人の人たちは私たちのそばから消えてしまった。校舎に逃げた人たちは、屋上の貯水槽の上に登れた一人の方を除き、流されてしまった。子どもたちが助かった理由は、住民の生死を分けたものは何か。それは、「誰よりも早く逃げることを決断したこと」に尽きる。 （３）避難所では 私たちの学校の子どもたちは全員が助かった。そして、何日かたってどんどん家族の迎えが来た。いや、正確には迎えに来て帰る家がないのだから無事を確かめに来たと言った方がいいのかもしれない。食べ物は小さなおにぎり 1 個。近くの冷凍工場から流れ出た冷凍秋刀魚を拾い上げ、焼いて食べた。不平不満言うものは一人もいなかった。 みんなが一生懸命働いた。特に 6 年生と中学生ががんばった。そして、いたるところでこんな言葉が飛び交っていた。「見つかって、あ～、良かった」。そして、10 日後にはこんな言葉であった。「見つかって、あ～、良かった」。そう、同じ

	会話である。2、3日はどこかで無事にいることを期待している。そして「無事で見つかって、あ～、良かった」だが、10日も過ぎるともちろん無事な姿でいるわけがない。誰しもがあきらめきっている。しかし、遺体であっても「少しでも早く見つかって良かった」と思うわけである。同じ言葉でもこんなに違いがあったのだ。 また、ある子には最後まで誰も迎えに来ることはなかった。どんな思いで家の人が現れるのを待っていたか想像がつくだろうか。そんな中で許せない出来事もあった。日本人はみんな立派だなんて言われているが、そんな人だけでは決してなかった。 「この辺で見たことのない人たちがたくさんいた」とか、「でっかいリュックを背負っていた」等、色々な目撃情報を聞いた。私が直接見たわけではないが、ガレキの中からようやく息子さんを発見した家族が、その横に中身を全部抜かれていた財布を見てどう思われたか。人間というものは泣くに泣けない時がある。その時が一番悲しい時である。こんな状況の中で、なぜこんな人間がいるのか。皆さんはそんな人間にだけはならないでほしい。 (4) 皆さんへのお願い 皆さんに、以前教師だったという立場からお願いしたいことがある。それは「命を大事にしてください」ということである。まずは自分の命を、そして隣の人の命を。必死で逃げても命が尽きてしまった彼女。彼女だけでなく、たくさんの若い命が一瞬にして奪われた。どんなに怖かっただろう。想像しても想像しても、その恐ろしさ、苦しさは私にはわからない。こんな恐ろしい災害が起こるなんて夢にも思わなかったから。 しかし、人生には思いもよらないことが起こる。だから、今、この時を大切に。生きていくことの幸せをかみしめてほしいと思う。そして、誰の命も大切に。する人になってもらいたい。陸前高田の人は、大切な人をたくさん亡くした。でも、厳しい環境の中で、精一杯明るく前を向いて歩む人がたくさんいる。皆さんには自分の家がある。家族がいる。自分の学校がある。学校には広い校庭がある。友達がいる。当たり前のことだけでも素晴らしいことである。だからこそ、家族や友達を大事にして一生懸命勉強してほしいと思う。
開催地より	今日菅野さんの話を聞いた方々の胸に、その言葉はきっと深く刻まれたことと思う。貴重なお話を聞くことができたことを感謝し、命を大切にする人間になるよう努めてほしい。